高齢者肺炎球菌の予防接種を受けましょう

対象者には、6月末ごろに案内を送付します。

対●令和元年度に65･70･75･80･85･90･95歳になる人、100歳以上の人
●60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器などに重度の障害がある人（医師の証明書が必要）

※過去に肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）の予防接種を受けた人は対象外です。

接種場所　市内の医療機関

※市外･県外で接種を希望する人は、事前に健康推進課へ連絡してください。

持接種料金4,000円、案内はがき、本人確認書類

次に当てはまる人は、無料で接種が受けられます。
■生活保護世帯・市民税非課税世帯の人

問健康推進課（☎0848–24–1961）

市民公開講座「大切ないのちについて考える」

日7月7日㈰14:00～16：00
※12:00～13：30HIV抗原抗体検査、梅毒検査。

場しまなみ交流館

演題「性感染症を知って予防―健やかに人生を輝かせるために―」

講師　岸本寿男さん（(公財) 岡山県健康づくり財団健康づくり総合センター保健部長）

内講演会、尺八演奏

問尾道市医師会性感染症・エイズ対策プロジェクト委員会（☎0848–25–3151）

不妊治療費を助成します

■特定不妊治療費助成

対特定不妊治療（体外受精や顕微授精）を受けて、広島県特定不妊治療支援事業の助成承認決定を受けた人

■一般不妊治療費助成

対以下の全てに該当する人
①一般不妊治療を開始した際、法律上の婚姻をしている夫婦（年齢は不問）
※不妊治療を受ける夫、妻がそれぞれに申請可。
②尾道市内に住所を有している人
③一般不妊治療で他の自治体（広島県を除く）の助成を受けていない人
④市税・国保料を滞納していない人
※男性の不妊治療も助成対象になります。
詳しくは、市ホームページ、医療機関等にあるリーフレット等をご覧ください。

問健康推進課（☎0848–24–1960）

医師会だより #21

先天性風疹症候群から赤ちゃんを守るために

風疹は、患者さんの咳やくしゃみによって飛び散る飛沫（唾液のしぶき）を吸い込むことで感染していく病気です。症状は発熱、顔から全身に広がる細かい赤い発疹、耳の後ろのリンパ節の腫れ、目の充血、関節痛等です。これらの症状は約7日前後で治まります。ところが、妊娠20週までの人が風疹にかかると、おなかの中の赤ちゃんが風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等を伴う「先天性風疹症候群」になって生まれてくることがあります。

この症候群から赤ちゃんを守るためには、風疹の流行を防ぐ必要があります。流行を防ぐ最も有効な方法は、予防接種です。予防接種により体内で風疹ウイルスをやっつける風疹抗体が産生されます。従って十分にこの抗体が作られれば風疹にはかかりません。

風疹の予防接種は、平成2年4月2日以降に生まれた人は2回、昭和37年度から平成元年度に生まれた女性及び昭和54年度から平成元年度に生まれた男性は公費で1回受けていますが、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は1回も受ける機会がありませんでした。このため、この世代の男性の風疹抗体保有率は79.8%(同世代の女性は95%)と低くなっています。よって、風疹の流行を防ぐためにはこの世代の抗体保有率を上げる必要があります。

そこで厚生労働省は今年4月から3年間かけて対象男性への風疹抗体検査と予防接種を無料で実施することとしました。これによって風疹の感染拡大が防止され先天性風疹症候群の発生をなくす事が出来ます。対象世代の男性（昭和37（1962）年4月2日から昭和54（1979）年4月1日までの間に生まれた男性、現在39～56歳の人）に漸次、2019年4月1日より2022年3月31日にかけて、尾道市から風疹にかかわる定期予防接種および抗体検査の案内が送られてきますので、この機会に風疹抗体検査を受けていただき、同抗体価の低い人は是非、予防接種をお受けください。

諫見内科眼科医院
諫見康弘先生

■次回は広報おのみち10月号に掲載予定です。

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。日日時・期間　場場所　対対象　内内容　定定員　料料金　持持参物　締締切　申申込方法・申込先　問問い合わせ先　☎電話　FAXファクス　✉電子メール　HPホームページ

障害者出前教室（スポーツ）

日6／21㈮ フライングディスク
7／26㈮ ボッチャ
9／20㈮ カローリング
10／18㈮ スロービー
11／15㈮ 室内グラウンド・ゴルフ
12／20㈮ フラワーアレンジ
1／17㈮ ドッチビー
2／21㈮ レクリエーション・スポーツ

時間　13：30～15：00

場長者原スポーツセンター

※12月のみ総合福祉センター。

対原則、障害者手帳（身体・療育・精神）をお持ちの人と介助者

講師　スポーツ交流センターおりづる職員

持屋内用シューズ、運動のできる服装

締開催日の1週間前までに電話かFAXで（傷害保険手続きのため）

申問尾道市身体障害者福祉連合会尾道支部
（☎0848–21–2177・FAX0848–21–2178／月～金13：30～17：00、毎月11日～月末のみ）

御調地区保健福祉推進大会 出前トーク

人生100才時代～元気な100才をめざして～

日7月6日（土）13：00～16：00

場公立みつぎ総合病院

■特別講演「栄養のお話～100歳まで元気でいるために～」

講師　平井敏弘（公立みつぎ総合病院顧問）

■シンポジウム「このまちで、自分らしく暮らし続けるために」

内活動発表、パネルディスカッション

平井 敏弘

問御調保健福祉センター（☎0848–76–2235）

ミュージック・ケア（集団音楽療法）

日6月22日、9月28日、1月25日、2月22日の土曜10：30～11：30

場総合福祉センター

対主に発達に不安のある子ども

内音楽に合わせて親子で楽器や体を使ったリズム遊び等

講師　北川宜子さん（NPO法人日本ミュージック・ケア協会認定指導者）

料1回800円

申問わいわいクラブ（☎0848-47–8730）

第57回尾道発達障害児支援フォーラム

日6月22日㈯13：30～15：30

場尾道発達相談・療育支援センターあづみ園（久保町1811）

内講演会「子どもと楽しむ子育てのコツ！～ペアレント・トレーニングの実践より～」

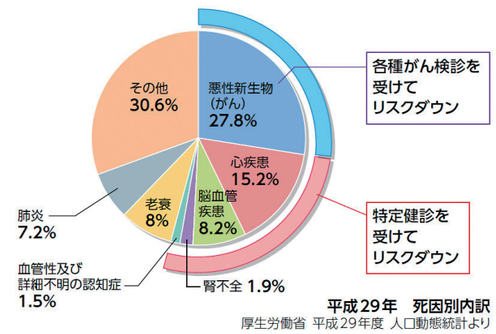
講師　井上菜穂さん（鳥取大学教育支援・国際交流推進機構学生支援センター准教授）

申問尾道発達相談・療育支援センターあづみ園（☎0848–20–7887）

まめまめ通信72　将来の病気や介護のリスクをダウン！特定健診･がん検診

人生100歳時代と言われる現在、自分自身の5年先、10年先を想像したことがありますか？自分らしく生きるために、いま出来ることはどんなことでしょう？1年に1度は健診を受けませんか？自覚症状の少ない生活習慣病やがんを早期発見し、将来の病気・介護リスクを減少させることができます。

特定健康診査・保健指導では、メタボリックシンドロームや高血圧・糖尿病などの生活習慣病の重症化予防を目的としています。がん検診では、がんを早期発見することができます。



問健康推進課（☎0848–24–1962）

ヘリカルCT肺がん検診

日8月1日㈭13：40～15：30

場瀬戸田福祉保健センター

対40歳以上の人※受診制限あり。

定25人　締7月12日㈮

※自己負担金等、詳細は広報おのみち5月号12頁をご覧ください。

申問健康推進課（☎0848-24-1962）

集団健診　［要申込］

実施日	場　所	申込締切
8／1㈭ 2㈮	因島総合福祉保健センター	6／18㈫
8／28㈬ 29㈭ 30㈮	市民センターむかいしま	7／12㈮

受付時間　8：30～10：00

※申込方法や健診項目などは、広報おのみち4月号折込「健康診査お知らせ」をご確認いただくか、お問い合わせください。

問健康推進課（☎0848–24–1962）